



各位

会社名 キオクシアホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 早坂伸夫  
(コード番号: 285A 東証プライム市場)  
問合せ先 専務執行役員 花澤秀樹  
(TEL. 03-6478-2539)

## 東京証券取引所プライム市場への上場に伴う 当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日2024年12月18日付で東京証券取引所プライム市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2025年3月期第3四半期連結会計期間（2024年10月1日から2024年12月31日）の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。当社及び当社子会社（以下、「当社グループ」といいます。）が属する半導体メモリ業界では事業環境が短期間に大きく変化する特徴等があることから、四半期での連結業績予想について幅を持たせたレンジ形式にて開示しております。

【連結】(注1、4)

(単位: 億円)

項目	決算期	2025年3月期 第3四半期 連結会計期間 (予想)		2025年3月期 第2四半期 連結会計期間 (実績)		2024年3月期 (実績)	
		対売上 収益比率 (%)	対前四半期 増減率(%)	対売上 収益比率 (%)	対売上 収益比率 (%)	対売上 収益比率 (%)	対売上 収益比率 (%)
売上収益	4,300~4,800	100	△10.6~△0.2	4,809	100	10,766	100
Non-GAAP 営業利益 (△損失) (注) 2、3	980~1,380	22.8~28.8	△41.1~△17.0	1,663	34.6	△2,540	△23.6
営業利益 (△損失)	980~1,380	22.8~28.8	△41.0~△16.9	1,660	34.5	△2,527	△23.5
Non-GAAP 親会社の所有者に帰属 する当期 (四半期) 利益 (△損 失) (注) 2、3	560~840	13.0~17.5	△47.4~△21.1	1,064	22.1	△2,446	△22.7
親会社の所有者に帰属する 当期 (四半期) 利益 (△損失)	560~840	13.0~17.5	△47.3~△20.9	1,062	22.1	△2,437	△22.6
Non-GAAP 基本的1株当たり 当期 (四半期) 利益 (△損失) (注) 2、3、5	107.48円~161.22円			205.70円		△472.63円	
基本的1株当たり 当期 (四半期) 利益 (△損失) (注) 5	107.48円~161.22円			205.26円		△470.97円	
1株当たり配当金	-			-		-	

- (注) 1. 当社は2018年3月期より国際会計基準（以下「IFRS」という。）に基づいて連結財務諸表を作成しております。
2. Non-GAAP 指標は、IFRSに基づく利益から、非経常的な項目として過去の企業結合に伴い発生したPPA (Purchase Price Allocation) 影響額及び2022年1月下旬に発生した3次元フラッシュメモリ「BiCS FLASH<sup>TM</sup>」の特定の生産工程における不純物を含む部材を起因とする四日市工場と北上工場での操業影響額を調整したものです。なお、2025年3月期第2四半期連結会計期間（実績）は不純物を含む部材を起因とする操業影響額の発生はなく、同第3四半期連結会計期間（予想）においても発生を見込んでおりません。
3. Non-GAAP 営業利益 (△損失)、Non-GAAP 親会社の所有者に帰属する当期 (四半期) 利益 (△損失) 及び Non-GAAP 基本的1株当たり当期 (四半期) 利益 (△損失) は、当社グループが、投資家にとって当社グループの恒常的な経営成績を理解する上で有用であると考えた財務指標であり、IFRSに基づく会計項目ではなく、また、監査法人の監査又はレビューを受けた数値ではありません。
4. 上記の連結業績予想レンジに関しては、当該予想期間における販売単価、出荷量、原材料及びエネルギーの価格並びに為替その他の変動を考慮の上、決定しております。

5. 2025年3月期第3四半期連結会計期間（予想）のNon-GAAP 基本的1株当たり当期（四半期）利益（△損失）及び基本的1株当たり当期（四半期）利益（△損失）は、公募予定株式数（21,562,500株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

【調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益の調整表】

(単位：億円)

	2025年3月期 第3四半期 連結会計期間 (予想)	2025年3月期 第2四半期 連結会計期間 (実績)	2024年3月期 (実績)
営業利益（△損失）	980～1,380	1,660	△2,527
(調整額)			
+ PPA影響額	—	3	63
+ 不純物を含む部材を起因とする操業影響額	—	—	△76
調整額小計（税金調整前）	—	3	△13
Non-GAAP営業利益（△損失）（注）6	980～1,380	1,663	△2,540
親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益（△損失）	560～840	1,062	△2,437
(調整額)			
+ PPA影響額	—	3	63
+ 不純物を含む部材を起因とする操業影響額	—	—	△76
調整額小計（税金調整前）	—	3	△13
調整項目の税金調整額	—	△1	4
調整額小計（税金調整後）	—	2	△9
Non-GAAP親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益（△損失）（注）7	560～840	1,064	△2,446

(注) 6. Non-GAAP 営業利益＝営業利益＋PPA 影響額＋不純物を含む部材を起因とする操業影響額

7. Non-GAAP 親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益＝親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益＋PPA 影響額＋不純物を含む部材を起因とする操業影響額－調整項目の税金調整額

(参考情報)

## 【2025年3月期第3四半期連結会計期間業績予想の前提条件】

### 1. 当社グループ全体の見通し

世界中に広がるデータエコノミーの波の中で、人々が扱うデジタルデータの総量は増加の一途を辿っており、これまで、日々増加するデジタルデータの処理のために、デジタルカメラ、スマートフォン、タブレット端末、PC等においてフラッシュメモリが使用されてきました。今後も、AIの発展を筆頭にクラウド、5G、IoT等の普及により、世界における生成データ量は増加を続けるものと当社は考えており、第三者の調査機関である TechInsights Inc.によれば、フラッシュメモリ全体の需要は約2.7倍に伸長する(2023年-2028年(予想))と見込まれております(出典:TechInsights Inc. “NAND Market Report Q3 2024”)。近年は、AI活用の普及やクラウドコンピューティング等ビッグデータビジネスの進展により、データセンター、エンタープライズ向けメモリ需要の拡大傾向に加え、スマートフォン及びノート PC 搭載メモリも大容量化傾向にあります。アプリケーション別では、「SSD & ストレージ向けメモリ」及び「スマートデバイス向けメモリ」とも、記憶容量ベースでの市場規模は拡大傾向にあり、今後も記憶容量ベースでの市場規模の拡大傾向を当社は見込んでいます。

2025年に向けた主要アプリケーション市場の状況としては、データセンター・エンタープライズ市場は大手テクノロジー企業が引き続きAI投資に注力しており、今後AI関連サービスの拡大からAI推論向けサーバーが増加し、従来サーバーの買い替え需要の増加と併せて継続した需要増加が期待されております。また、PC・スマートフォンについては、足元では顧客の在庫が高水準となっており、需要が弱含む状況が短期的に継続すると見込まれますが、その後はAI搭載モデルの普及による需要回復が見込まれています。加えて、PCについては2025年10月にWindows10のサポートが終了することによる企業ユーザーを中心とした買い替え需要も見込まれています。

こうした状況において2025年3月期第2四半期連結会計期間は、PC・スマートフォン向け需要について上述の顧客の在庫調整の影響があったものの、データセンター・エンタープライズ向けSSDの強い需要と新規モデル等への部品取込みによるスマートフォン向け需要の季節的要因により出荷量(記憶容量ベース)が増加し、販売単価も上昇したことで、売上収益4,809億円、Non-GAAP営業利益1,663億円、Non-GAAP親会社の所有者に帰属する四半期利益1,064億円となり、売上収益、営業利益は過去最高となりました。

2025年3月期第3四半期連結会計期間の業績予想につきましては、売上収益4,300~4,800億円(対前四半期△10.6%~△0.2%)、Non-GAAP営業利益980~1,380億円(対前四半期△41.1%~△17.0%)を見込んでおります。為替レートは、1米ドル=149円を前提としております。

### 2. 業績予想の前提条件

#### (売上収益)

PC・スマートフォン向け需要は季節的要因に加えて顧客の在庫が高水準となっており、需要が弱含む状況が短期的に継続すると予想されます。一方で、引き続きデータセンター・エンタープライズSSDの需要は、AI用途での大容量SSDへの需要拡大を背景に増加を見込んでいます。それらを考慮した上での売上収益は、4,300~4,800億円を予想しております。

#### (Non-GAAP営業利益及び営業利益)

上記の売上収益の状況の下、研究開発費については、技術的競争力を維持、向上しつつ、的確な領域の技術開発を行うことで、適切かつ競争力のある水準を維持します。販売費及び一般管理費については、研究開発費のほか、その他の販売費及び一般管理費についても、規律をもって管理します。以上の結果、Non-GAAP営業利益は980~

1,380 億円（売上収益比 22.8%～28.8%）を予想しております。また、営業利益については、980～1,380 億円（売上収益比 22.8%～28.8%）と予想しております。

（Non-GAAP 親会社の所有者に帰属する四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益）

金融収益及び金融費用については、主に借入れに係る支払利息及び為替差損益となっております。税金費用については、実効税率約 30%を前提としております。以上の結果、Non-GAAP 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、560～840 億円（売上収益比 13.0%～17.5%）を予想しております。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、560～840 億円（売上収益比 13.0%～17.5%）を予想しております。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

当社グループが属する半導体メモリ業界では事業環境が短期間に大きく変化する特徴があります。また、足元の事業環境における新興国の経済成長と停滞、地政学リスクの高まり、原材料及びエネルギーの価格変動、為替相場の変動などの不確実性による影響など、かかる業績予測には多くの不確実性が存在します。

以上

ご注意： この文書は当社グループの業績予想に関して一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、米中貿易摩擦を含む経済状況の変化、半導体メモリ市況の変化及び他社との競合、サプライチェーンの混乱、工場の操業停止、為替及び金利など金融市場の変動、半導体事業に係る政策変更等により、本記者発表文の内容又は本資料から推測される内容と大きく異なることがあります。

本記者発表文は、米国における証券の募集又は販売を構成するものではありません。1933 年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、1933 年米国証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。その場合には、英文目論見書は、当社又は売出人より入手することができます。これには当社及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の登録を行うことを予定しておりません。



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年12月18日

上場会社名 キオクシアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 285A URL <http://www.kioxia-holdings.com/ja-jp/top.html>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）早坂 伸夫  
 問合せ先責任者 （役職名）専務執行役員 （氏名）花澤 秀樹 TEL 03 (6478) 2539  
 半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		Non-GAAP 営業利益		営業利益		税引前利益		中間利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	909,408	84.6	292,524	—	291,891	—	248,919	—	175,980	—
2024年3月期中間期	492,538	△35.1	△225,963	—	△231,582	—	△269,040	—	△189,099	—

	Non-GAAP 親会社の 所有者に帰属する 中間利益		親会社の 所有者に帰属する 中間利益		中間包括利益 合計額		基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	176,432	—	175,980	—	168,185	—	340.06	335.95
2024年3月期中間期	△185,197	—	△189,104	—	△189,525	—	△365.42	△365.42

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	2,925,590	617,934	617,809	21.1
2024年3月期	2,864,941	449,766	449,635	15.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期第3四半期の連結業績予想（2024年10月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前四半期増減率）

第3四半期	売上収益		Non-GAAP 営業利益		営業利益		Non-GAAP 親会社の所有者に 帰属する四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	4,300億円 ～4,800億円	-11% ～-0%	980億円 ～1,380億円	-41% ～-17%	980億円 ～1,380億円	-41% ～-17%	560億円 ～840億円	-47% ～-21%	560億円 ～840億円	-47% ～-21%

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	517,500,000株	2024年3月期	517,500,000株
2025年3月期中間期	一株	2024年3月期	一株
2025年3月期中間期	517,500,000株	2024年3月期中間期	517,500,000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本決算短信に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定および所信に基づくものであり、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、半導体業界における激しい競争等）がありますが、これらに限られません。）により、実際の結果とは異なる可能性があります。

（種類株式の配当の状況）

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
甲種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	4,349,156.00	4,349,156.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	未定	未定
乙種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	4,637,595.00	4,637,595.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	未定	未定

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約中間連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12



## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社およびその子会社（以下、当社グループ）並びに関連会社及び共同支配の取決めに対する持分を含む経営成績等の状況の概要は次のとおりです。

当社グループはメモリ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略していますが、売上収益を製品の用途に応じたアプリケーション別に区分しています。「SSD & ストレージ」には主にPC、データセンター、エンタープライズ向けSSD製品及びメモリ製品が含まれています。「スマートデバイス」にはスマートフォン、タブレット、テレビ等の民生機器、車載、産業機器等の用途で使用される制御機能付きの組み込み式メモリ製品が含まれています。「その他」にはSDメモ리카ード、USBメモリ等のリテール向け製品及び製造合弁会社3社経由で計上されるWestern Digitalグループ向けの売上等が含まれています。

なお、当社グループが属する半導体メモリ業界では事業環境が短期間に大きく変化する特徴等があることから、投資者にとって有用な情報を提供するために、四半期での連結業績予想について幅を持たせたレンジ形式にて開示しており、年度計画値及び当該達成状況に係る記載は省略しています。

また、当社グループは、経営者が意思決定する際に使用する社内指標（以下「Non-GAAP指標」という。）及びIFRSに基づく指標の双方によって、連結経営成績を開示しています。

Non-GAAP指標は、IFRSに基づく利益から、非経常的な項目としてPPA（Purchase Price Allocation）影響額及び2022年1月下旬に発生した3次元フラッシュメモリ「BiCS FLASH<sup>TM</sup>」の特定の生産工程における不純物を含む部材を起因とする四日市工場と北上工場での操業影響額を調整したものです。

経営者は、Non-GAAP指標を開示することで、ステークホルダーにとって同業他社比較や過年度比較が容易になり、当社グループの恒常的な経営成績や将来見通しを理解する上で有益な情報を提供できると判断しています。Non-GAAP指標は、当社グループの経営上の社内指標であり、IFRSに基づく会計項目ではなく、また、監査法人の監査又は期中レビューを受けた数値ではありません。そのため、当社グループの実際の財政状態や経営成績を正確に示していない可能性があります。なお、非経常的な項目とは、一定のルールに基づき除外すべきと当社グループが判断する一過性の利益や損失のことです。

当中間連結会計期間（2024年4月1日～9月30日）における世界経済は、先進国において物価上昇が鈍化していることなどから金融政策が引き締めから緩和に転じ、労働市場や個人消費が堅調であることから景気も底堅く推移しました。新興国においては、不動産市場低迷の影響から個人消費と製造業が弱含み、景気の停滞がみられます。また、ウクライナや中東地域の一段の緊張など地政学リスクは引き続き高い状況下であり、世界経済における不透明な見通しが続いています。

フラッシュメモリ市場において、減産および投資抑制が2023年後半から効果を表し始めて需給バランスの改善と販売単価の上昇が生じましたが、直近では上昇率が緩やかになっています。アプリケーション別では、SSD & ストレージにつきましては、PC向け需要は顧客の在庫が高水準となっており回復が弱含み、また、今後も需要が弱含む状況が短期的に継続すると見込まれますが、今後AI搭載モデルの普及、メモリ搭載容量の増加及びPCのオペレーティングシステム更新に伴う買い替えによる需要回復が期待されています。エンタープライズ、データセンターSSDの需要は、AI需要により伸長しました。大手テクノロジー企業が引き続きAI投資に注力しており、今後AI関連サービスの拡大からAI推論向けサーバーが増加し、従来サーバーの買い替え需要の増加と併せて継続した需要増加が期待されています。スマートデバイスにつきましては、新規モデル等への部品取り込みによるスマートフォン向け需要の季節的要因により、出荷量（記憶容量ベース）は増加しました。足元では顧客の在庫が高水準となっており、需要が弱含む状況が短期的に継続すると見込まれますが、その後はAI搭載モデルの普及の増加による需要回復が見込まれています。

### ■前四半期比較表

	当第1四半期 連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	前四半期比 (+：増加、 -：減少)
売上収益	4,285億円	4,809億円	+524億円
SSD & ストレージ	2,231億円	2,742億円	+511億円
スマートデバイス	1,519億円	1,526億円	+7億円
その他	536億円	541億円	+6億円

Non-GAAP営業利益	1,262億円	1,663億円	+402億円
PPA影響額等(△損失)	△3億円	△3億円	+0億円
営業利益	1,259億円	1,660億円	+402億円
税引前四半期利益	997億円	1,492億円	+494億円
四半期利益	698億円	1,062億円	+365億円
Non-GAAP親会社の所有者に帰属する四半期利益	700億円	1,064億円	+365億円
親会社の所有者に帰属する四半期利益	698億円	1,062億円	+365億円
基本的1株当たり四半期利益	<u>134.80円</u>	<u>205.26円</u>	<u>+70.46円</u>

(注) 本表における億円単位表記箇所については、Non-GAAP数値及びPPA影響額等を除き「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記」に記載の数値から億円未満を四捨五入した数値を記載しています。

当第2四半期連結会計期間(2024年7月1日～9月30日)の売上収益は4,809億円(前四半期比524億円増加)となりました。この大幅な増収は、出荷量(記憶容量ベース)の増加や販売単価の上昇によるものです。アプリケーション別では、SSD & ストレージの売上収益は2,742億円(前四半期比511億円増加)、スマートデバイスの売上収益は1,526億円(前四半期比7億円増加)となりました。

営業利益は1,660億円(前四半期比402億円改善)と大幅に改善しました。これは、前述の出荷量(記憶容量ベース)の増加や販売単価の上昇を受けた売上収益の増加によるものです。金融費用208億円(金利上昇によって支払利息が増加した一方、為替差損益が改善したため、前四半期比54億円減少)等控除後、税引前四半期利益は1,492億円(前四半期比494億円改善)となりました。法人所得税費用等控除後、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,062億円(前四半期比365億円改善)となりました。また、PPA影響額(△3億円)を除くNon-GAAP営業利益は1,663億円(前四半期比402億円改善)、Non-GAAP親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,064億円(前四半期比365億円改善)となりました。

#### ■前年同期比較表

	前中間 連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間 連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比 (+: 増加、 -: 減少)
売上収益	4,925億円	9,094億円	+4,169億円
SSD & ストレージ	2,134億円	4,973億円	+2,838億円
スマートデバイス	1,856億円	3,044億円	+1,189億円
その他	935億円	1,077億円	+142億円
Non-GAAP営業利益(△損失)	△2,260億円	2,925億円	+5,185億円
PPA影響額等(△損失)	△56億円	△6億円	+50億円
営業利益(△損失)	△2,316億円	2,919億円	+5,235億円
税引前中間利益(△損失)	△2,690億円	2,489億円	+5,180億円
中間利益(△損失)	△1,891億円	1,760億円	+3,651億円
Non-GAAP親会社の所有者に帰属する中間利益(△損失)	△1,852億円	1,764億円	+3,616億円
親会社の所有者に帰属する中間利益(△損失)	△1,891億円	1,760億円	+3,651億円
基本的1株当たり中間利益(△損失)	<u>△365.42円</u>	<u>340.06円</u>	<u>+705.48円</u>

(注) 本表における億円単位表記箇所については、Non-GAAP数値及びPPA影響額等を除き「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記」に記載の数値から億円未満を四捨五入した数値を記載しています。

当中間連結会計期間の売上収益は9,094億円(前年同期比4,169億円増加)となりました。この大幅な増収は出荷量(記憶容量ベース)の増加や販売単価の大幅な上昇及び円安の好影響によるものです。

営業利益は2,919億円(前年同期比5,235億円改善)となりました。この大幅な改善は、前述の出荷量(記憶容量ベース)の増加や販売単価の上昇を受けた売上収益の増加の影響に加えて前年同期には未稼働製造費用があったことなどによるものです。金融費用445億円(金利上昇による支払利息の増加等により前年同期比59億円増加)等控除後、税引前当期中間利益は2,489億円(前年同期比5,180億円改善)となりました。法人所得税費用等控除後、親会社の所有者に帰属する中間利益は1,760億円(前年同期比3,651億円改善)となりました。また、PPA影響額(△6億円)を除くNon-GAAP中間営業利益は2,925億円(前年同期比5,185億円改善)、Non-GAAP親会社の所有者に帰属する中間利益は1,764億円(前年同期比3,616億円改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)	前期末比増減 (+ : 増加、- : 減少)
資産合計	2兆8,649億円	2兆9,256億円	+606億円
負債合計	2兆4,152億円	2兆3,077億円	-1,075億円
資本合計	4,498億円	6,179億円	+1,682億円
親会社の所有者に帰属する持分	4,496億円	6,178億円	+1,682億円
親会社所有者帰属持分比率	15.7%	21.1%	+5.4ポイント

(注) 本表における億円単位表記箇所については、「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記」に記載の数値から億円未満を四捨五入した数値を記載しています。

(資産)

当中間連結会計期間末の資産は2兆9,256億円となり、前期末に比べて606億円増加しました。

これは、売上収益増加に伴い営業債権及びその他の債権が701億円、棚卸資産が598億円増加した一方で、税務上の繰越欠損金に係る繰延税金資産の減少等により繰延税金資産が489億円減少したことなどによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は2兆3,077億円となり、前期末に比べて1,075億円減少しました。

これは、リボルビング・クレジット・ファシリティの返済等により借入金（流動負債及び非流動負債）が2,213億円減少した一方で、リース負債（流動負債及び非流動負債）が422億円増加したことなどによるものです。

(資本)

当中間連結会計期間末の資本は6,179億円となり、前期末に比べて1,682億円増加しました。

主な増加要因は、中間利益1,760億円の計上です。この結果、親会社所有者帰属持分比率は21.1%となり、前期末に比べて5.4ポイント増加しました。

(3) キャッシュ・フローの状況

	前中間 連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間 連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比増減 (+ : 増加、 - : 減少)
営業活動によるキャッシュ・フロー	372億円	2,419億円	+2,046億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,841億円	△628億円	+1,213億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	350億円	△2,217億円	-2,567億円

(注) 本表における億円単位表記箇所については、「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記」に記載の数値から億円未満を四捨五入した数値を記載しています。

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,437億円となり、前期末に比べて439億円減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は2,419億円（前年同期は372億円の獲得）となりました。

その内容は、税引前中間利益2,489億円（前年同期は税引前中間損失△2,690億円）、減価償却費及び償却費1,577億円（前年同期は1,812億円）などです。また、獲得した資金が前年同期比2,046億円増加した主な要因は、前述の営業損益の改善に伴い、税引前中間利益の計上等による資金獲得が、棚卸資産の増加等による資金流出を上回ったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は628億円（前年同期は1,841億円の使用）となりました。

その内容は、有形固定資産の取得による支出873億円（前年同期は1,889億円）などです。また、使用した資金が前年同期比1,213億円減少した主な要因は、設備投資の抑制に伴う有形固定資産の取得による支出の減少などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は2,217億円（前年同期は350億円の獲得）となりました。

その内容は、短期借入金及びリボルビング・クレジット・ファシリティ実行残高の純減額938億円（前年同期は短期借入金の純増加額864億円）、長期借入による収入264億円（前年同期は774億円）、長期借入金の返済による支出1,401億円（前年同期は1,150億円）などです。また、支出した資金が前年同期比2,567億円増加した主な要因は、借入金返済額が新規借入額を上回ったことなどによるものです。

#### (4) 今後の見通し

2025年3月期第3四半期連結会計期間（2024年10月1日から2024年12月31日）の業績予想は以下のとおりです。当社グループが属する半導体メモリ業界では事業環境が短期間に大きく変化する特徴等があることから、四半期での連結業績予想についてレンジ形式にて開示しています。

第3四半期においては、PC・スマートフォン向け需要は季節性要因に加えて顧客の在庫が高水準となっており、需要が弱含む状況が短期的に継続すると予想される一方で、引き続きデータセンター・エンタープライズSSDの需要は、AI用途での大容量SSDへの需要拡大を背景に増加を見込んでいます。

#### 連結業績の見通し

2025年3月期第3四半期連結会計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前四半期増減率)

	2025年3月期 第1四半期 (実績)	2025年3月期 第2四半期 (実績)	2025年3月期 第3四半期 (見通し)	
売上収益	4,285億円	4,809億円	4,300億円～4,800億円	-11%～-0%
Non-GAAP営業利益	1,259億円	1,663億円	980億円～1,380億円	-41%～-17%
営業利益	1,259億円	1,660億円	980億円～1,380億円	-41%～-17%
Non-GAAP親会社の所有者に帰属 する四半期利益	700億円	1,064億円	560億円～840億円	-47%～-21%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	698億円	1,062億円	560億円～840億円	-47%～-21%

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	187,593	143,694
営業債権及びその他の債権	149,815	219,947
その他の金融資産	5,353	27,455
棚卸資産	271,781	331,543
その他の流動資産	36,833	53,046
流動資産合計	651,375	775,685
非流動資産		
有形固定資産	1,168,765	1,132,099
使用権資産	159,719	201,775
のれん	395,405	395,259
無形資産	11,259	10,039
持分法で会計処理されている投資	6,869	6,931
その他の金融資産	87,139	61,676
その他の非流動資産	13,688	20,272
繰延税金資産	370,722	321,854
非流動資産合計	2,213,566	2,149,905
資産合計	2,864,941	2,925,590

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	826,413	275,824
営業債務及びその他の債務	512,502	570,672
リース負債	40,025	40,978
その他の金融負債	344,341	24,508
未払法人所得税	6,182	22,396
引当金	4,694	4,610
その他の流動負債	131,970	111,373
流動負債合計	1,866,127	1,050,361
非流動負債		
借入金	284,899	614,225
リース負債	142,871	184,137
その他の金融負債	—	321,559
退職給付に係る負債	48,492	48,920
引当金	7,331	7,721
その他の非流動負債	65,419	80,731
繰延税金負債	36	2
非流動負債合計	549,048	1,257,295
負債合計	2,415,175	2,307,656
資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	851,517	851,517
その他の資本の構成要素	51,172	43,364
利益剰余金	△463,054	△287,072
親会社の所有者に帰属する持分合計	449,635	617,809
非支配持分	131	125
資本合計	449,766	617,934
負債及び資本合計	2,864,941	2,925,590

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書  
 (要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)
売上収益	492,538	909,408
売上原価	656,029	556,365
売上総利益 (△損失)	△163,491	353,043
販売費及び一般管理費	65,948	62,632
その他の収益	1,369	4,063
その他の費用	3,512	2,583
営業利益 (△損失)	△231,582	291,891
金融収益	1,032	1,430
金融費用	38,538	44,474
持分法による投資利益	48	72
税引前中間利益 (△損失)	△269,040	248,919
法人所得税費用	△79,941	72,939
中間利益 (△損失)	△189,099	175,980
中間利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△189,104	175,980
非支配持分	5	0
中間利益 (△損失)	△189,099	175,980
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益 (△損失) (円)	△365.42	340.06
希薄化後1株当たり中間利益 (△損失) (円)	△365.42	335.95



## (要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)
中間利益 (△損失)	△189,099	175,980
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	5,909	△17,878
確定給付制度の再測定	40	2
純損益に振り替えられることのない項目合計	5,949	△17,876
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,997	△2,539
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△12,392	12,630
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	20	△10
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△6,375	10,081
税引後その他の包括利益	△426	△7,795
中間包括利益	△189,525	168,185
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	△189,536	168,191
非支配持分	11	△6
中間包括利益	△189,525	168,185

## (3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	その他の 資本の構成 要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
2023年4月1日時点の残高	10,000	851,517	15,634	△219,083	658,068	117	658,185
中間利益（△損失）	—	—	—	△189,104	△189,104	5	△189,099
その他の包括利益	—	—	△432	—	△432	6	△426
中間包括利益合計	—	—	△432	△189,104	△189,536	11	△189,525
株式報酬取引	—	—	10	—	10	—	10
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替	—	—	△40	40	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△30	40	10	—	10
2023年9月30日時点の残高	10,000	851,517	15,172	△408,147	468,542	128	468,670

当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	その他の 資本の構成 要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
2024年4月1日時点の残高	10,000	851,517	51,172	△463,054	449,635	131	449,766
中間利益（△損失）	—	—	—	175,980	175,980	0	175,980
その他の包括利益	—	—	△7,789	—	△7,789	△6	△7,795
中間包括利益合計	—	—	△7,789	175,980	168,191	△6	168,185
株式報酬取引	—	—	△17	—	△17	—	△17
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替	—	—	△2	2	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△19	2	△17	—	△17
2024年9月30日時点の残高	10,000	851,517	43,364	△287,072	617,809	125	617,934

## (4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益 (△損失)	△269,040	248,919
減価償却費及び償却費	181,247	157,685
減損損失	343	6
金融収益	△1,032	△1,430
金融費用	38,538	44,474
持分法による投資損益 (△は益)	△48	△72
固定資産除売却損益 (△は益)	1,205	△825
棚卸資産の増減額 (△は増加)	112,939	△61,776
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△18,892	△80,459
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	36,006	36,941
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	606	435
その他	△29,428	△34,287
小計	52,444	309,611
利息及び配当金の受取額	1,888	1,513
利息の支払額	△14,250	△63,171
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,859	△6,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,223	241,865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△188,912	△87,252
有形固定資産の売却による収入	327	1,623
無形資産の取得による支出	△404	△204
政府補助金による収入	4,768	22,966
その他	119	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,102	△62,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びリボルビング・クレジット・ファシリテ ィ実行残高の純増減額 (△は減少)	86,449	△93,806
長期借入による収入	77,395	26,448
長期借入金の返済による支出	△115,023	△140,137
リース負債の返済による支出	△13,807	△14,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,014	△221,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,049	△1,204
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107,816	△43,899
現金及び現金同等物の期首残高	261,351	187,593
現金及び現金同等物の中間期末残高	153,535	143,694

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する情報

当社グループは、メモリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(2) 製品及びサービスに関する情報

当社グループのアプリケーション別の売上収益に関する情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)
SSD & ストレージ	213,448	497,252
スマートデバイス	185,578	304,449
その他	93,512	107,707
合計	492,538	909,408